

# 読書推進運動


 公益社団法人  
**読書推進運動協議会**  
 〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町1-32  
 出版クラブビル6階  
 TEL 03(5244)5270  
 FAX 03(5244)5271  
 発行人 小塚 昌弘  
 編集人 片岡 伸子  
 定価 60円

No.630

★野間読書推進賞 授賞候補者推薦のお願い(2頁)  
 ★いま子どもと読みたい科学の本(5頁)

会員の購読料は  
会費の中に含まれる



## 「野間読書推進賞」推薦によせて

### すばらしい候補者との出会いを 楽しみに

野間読書推進賞選考委員  
日本国際児童図書評議会(JBBY) 副会長

野上 暁

新型コロナウイルスの感染拡大による非常事態宣言が出されるなかで、今年のごども読書の週間がはじまりました。全国各地で予定されていた関連行事も、ほとんどが中止のやむなきになってしまったのは、まことに残念としか言いようがありません。それでも、臨時休校により学校や図書館にも行けない子どもたちのため、地域のさまざまな団体やグループの、ネット配信によるブックトークや読み語りなど、ユニークな活動が報告されています。

毎年5月の連休に上野公園で行われる「上野の森親子ブックフェスタ」も、中止になってしまいました。今年で50回を迎える「野間読書推進賞」の候補者推薦受付が

15日からはじまります。数年前から最終選考会に参加させていたでいて、全国各地からよせられた団体や個人の方々の、長年にわたつての熱心な活動のそれぞれには頭が下がる思いで、そのなかから受賞者を選ぶというのはまさに至難の業です。

地域の集会場を使つての文庫活動とともに、生活のなかにある科学のおもしろさを体験するために科学実験に取り組んだり、文庫の周りの土地を耕して作物を収穫し、かまどで火を起こして料理をするなど、多角的な活動を40年にわたつて展開してきた福岡県の「たけのこ文庫」。

自宅を開放して、約8千冊の蔵書をもとに「家庭文庫ぼと」で毎月2回、絵本の読み語りをし、貸し出しや子育て相談にものり、子どもたちに生きる力を育もうと家庭菜園を併設して野菜作りなどを体験させるなど多彩な活動を個人で続けている広島県の村上招子さん。

お父さんを早く亡くし、子ども時代を戦時下で過ごしたために本も読めなかったことから、還暦を迎えてご夫婦で私有地を切り拓き、木を植え、植物の種をまき、ログハウスを建てて「すぎの子文庫」を1996年に開設した佐賀県の牟田昭一郎さん。子ども時代にはかなえられなかった夢をいまの子どもたちへと、夢の図書館を自力で立ち上げ、共感したスタッフとともに四半世紀にわたつて、森の中で自由に遊んだり読書したり、本を貸し出したり。文庫通信「すぎの子便り」を発行し、クリスマス会などのイベントなど、地域に根差した活動を続けているとはまさに驚異的です。

お父さんを早く亡くし、子ども時代を戦時下で過ごしたために本も読めなかったことから、還暦を迎えてご夫婦で私有地を切り拓き、木を植え、植物の種をまき、ログハウスを建てて「すぎの子文庫」を1996年に開設した佐賀県の牟田昭一郎さん。子ども時代にはかなえられなかった夢をいまの子どもたちへと、夢の図書館を自力で立ち上げ、共感したスタッフとともに四半世紀にわたつて、森の中で自由に遊んだり読書したり、本を貸し出したり。文庫通信「すぎの子便り」を発行し、クリスマス会などのイベントなど、地域に根差した活動を続けているとはまさに驚異的です。

団体も個人も、さまざまな思いをもとに、子どもたちの読書普及に献身的に関わられていることが、さまざまな要因によつて本離れが進んでいるなかにあつても、子どもたちの読書を活性化しています。

昨年6月の全国学校図書館協議会(全国SLA)による第65回学校読書調査によれば、昨年5月中に読んだ本の冊数が小学生(4年生から6年生)が11.3冊、中学生は4.7冊。1か月間に1冊も本を読まない不読率は小学生が6.8%、中学生が12.5%。これを2000年と比較してみると、読んだ本の冊数は小学生6.1冊、中学生2.1冊。不読率は小学生16.4%、中学生43.0%でした。本を読む子どもたちが大幅に増えていることがわかります。今年も、みなさんからのすばらしい候補者の推薦を楽しみにしています。

# 第50回(2020年度)

## 『野間読書推進賞』

### 受賞候補者推薦のお願い

公益社団法人 読書推進運動協議会は、読書の普及に貢献し、讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少なかった個人および団体を顕彰してまいりました。

この賞は、1969年、当協議会の社団法人設立を機会に、野間省一 講談社社長(当時)より1000万円の寄付を受け、1971年に「読書推進賞」を設定、1979年に講談社創業70周年記念として1000万円、1987年に講談社創業80周年を記念して2000万円の寄付を受け、その基金を中心にして運営しているものです。「読書推進賞」は、1985年より、「野間読書推進賞」と改めました。本年度もつぎに掲げる要項にしたがって、実施いたします。みなさまからのご推薦をよろしくお願ひいたします。



野間読書推進賞賞牌

#### 1 賞

賞状および賞牌

#### 2 副賞

金30万円(団体の部)

金20万円(個人の部)

金5万円(奨励賞)

#### 3 受賞の対象

地域や職域などにおいて、読書の普及に永年力を尽くし、読書推進運動に貢献された個人または団体。業務として読書推進に関する事業に従事する者、また学校図書館関係は除外します。

個人の場合、年齢・職業に、団体の場合、会員数・規模などに制限はありません。

過去に推薦いただいた個人や団体を再度ご推薦くださってもかまいません。

#### 4 推薦方法

- ① 全国都道府県および政令指定都市教育委員会
  - ② 都道府県中央図書館および読書推進運動協議会
  - ③ 全国市町村教育委員会連合会
  - ④ 日本PTA全国協議会
  - ⑤ 日本新聞協会
  - ⑥ 日本放送協会
  - ⑦ 日本民間放送連盟
- などに候補者推薦を5月中に依頼します。

受賞候補者の心当たりがある方は、これらの団体を通してご推薦ください。

これまでの受賞者一覧、昨年度の受賞者業績は、当協議会ホームページ(<http://www.dokusyo.or.jp>)でご覧いただけます。ご推薦の参考としてください。

#### 5 推薦用紙

当協議会指定の用紙をお使いください。推薦用紙および要項をご入用の際は、当協議会にご請求ください。

#### 6 推薦書類送付先、締切

公益社団法人 読書推進運動協議会  
「野間読書推進賞」係

〒101-0005  
東京都千代田区神田神保町  
1-32 出版クラブビル6階  
Tel.03-5224-5270

#### 推薦締切

2020年7月31日(金)消印有効

#### 7 受賞者決定まで

推薦締切後、8月下旬に野間読書推進賞運営事業委員会からなる選考準備委員会で候補者を絞り、9月中旬に3名の選考委員からなる選考委員会で、団体の部、個人の部と、必要が認められた場合は奨励賞の受賞者を決定します。

各賞の受賞者は、原則として2団体(2名)以内とします。

#### 8 選考委員

- 等原良郎 公益社団法人全国学校図書協議会顧問
- 秋本 敏 公益社団法人 日本図書館協会 図書紹介事業委員会委員長
- 野上 彰 児童文学・文化評論家
- 一般社団法人日本国際児童図書評議会 副会長

#### 9 結果の通知

受賞者決定後、受賞者とその推薦団体へ、すみやかに通知します。また、すべての推薦団体に、選考結果を文書にてお知らせします。

#### 10 贈呈式

2020年11月6日(金)  
出版クラブホールにて  
出版界、図書館界の関係者(団体)、これまでの野間読書推進賞受賞者、「読書推進運動」執筆者のみなさんなどをお招きします。



昨年度受賞者、推薦者のみなさんと野間会長、選考委員

昨年の贈呈式の様子を、当協議会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

\*新型コロナウイルス感染症対策として会合開催の自粛が継続して求められる場合、選考会・贈呈式のスケジュールなどに変更がでることもあります。読書推進運動協議会事務局、野間読書推進賞運営事業委員会・選考委員会では、推薦者・授賞候補者へ最大限の敬意を払い、状況に応じて最善の策がとれるよう努めてまいります。ご理解のほど、お願い申し上げます。

## 2020年度公益社団法人読書推進運動協議会 定時総会開催のお知らせ

公益社団法人 読書推進運動協議会では、左記のとおり2020年度の定時総会を開催いたします。

### 一、議事

#### ・第1号議案

2019年度事業報告書と

決算報告書承認の件

#### ・第2号議案

役員交代承認の件

#### ・第3号議案

2020年度事業計画書と

収支予算書報告の件

\*5月下旬に、議案書と出欠はがきをお送りします。はがきのご返

信と当日のご参加を、よろしくお願ひ申し上げます。

\*新型コロナウイルス感染症対策として、会合開催の自粛が継続して求められる場合、読書推進運動協議会理事会の協議・決定をもって開催スケジュールなどを変更する場合があります。その場合はすみやかに、会員各社へお知らせいたします。

### ■全国SLA 推薦絵本リスト

## 新刊絵本よりおすすめの50冊を 紹介!

全国学校図書協議会(全国SLA)は、推薦絵本リスト「2020 えほん50」全国SLA絵本委員会選定(協力子ども読書推進会議)を発表した。2019年から選定されたこのリストは、2016年の第28回選定をもって終了した「よい絵本」の後継事業にあたり、2018年10月から2019年12月までに刊行された絵本より、全国SLA絵

本委員会が「ぜひ子どもたちに読んでほしい」と推薦する50冊が厳選されている。

リストはPDFとエクセル形式のファイルが用意されており、全国SLAのホームページからダウンロードが可能。リストには、絵本ごとに目安となる対象程度も記載されている。また、推薦絵本の書影と内容紹介が入ったリーフレットのPDFもダウンロードで



[2020 えほん50]

きる。

### ●全国SLAホームページ内

「えほん50」紹介ページ

<http://www.j-sla.or.jp/recommend/e-hon50.html>

### ■2020年度「絵本ワールド」開催予定

## 子どもも大人も絵本とふれあおう! 今年は全国6会場で開催

「子どもの読書活動推進会議」が推進する「絵本ワールド」は

2000年の「子ども読書年」から全国で開催されている子どもの本のおまつり。開催地域の県立図書館・地元読書グループ・ボランティア・地元新聞社などが中心になった実行委員会により、児童文学作家・絵本作家による講演やトークショー、開催地域の読書グループ・ボランティアによるさまざまなワークショップ、1万点を超える子どもの本の展示即売会などが行われる。今年の開催地は以下のとおり。

絵本ワールドinみえ2020

11月1日(日)

三重県津市 高虎楽座

絵本ワールドin

11月2日(月)・3日(祝)

千葉県東金市 城西国際大学 東金キャンパス

絵本ワールドinいがた2020

11月15日(日)

新潟県新潟市 朱鷺メッセ

(5月10日現在)

\*新型コロナウイルス感染症対策のため、開催予定が変更されることもあります。

### 【開催予定】

第21回 絵本ギャラリーin奈良

7月25日(土)・26日(日)

奈良県奈良市 ならまちセンター

絵本ワールドinふくしま2020

8月9日(日)・10日(祝)

福島県郡山市 ビッグパレットふくしま

絵本ワールドin

10月18日(日)

東京都千代田区 城西国際大学

紀尾井町キャンパス



人気キャラクターが子どもたちを迎えた「絵本ワールドinふくしま2019」

■休校中の子どもたち、大人たちへ 科学の本のすすめ

# 楽しく学び、自分で考える…… いまこそ科学の本を子どもたちと読みませんか？

子どもたちの本研究会 科学の部会 小澤恭子・瀬間幸子・増本裕江

新型コロナウイルスのワクチン

と、効果的な治療薬の開発が待たれる。新たなウイルスに対し、つぎつぎとわかってきたことがある反面、なかには疑わしいものもある。3・11以降、知らないでは済まないこと、常識だと思われていたことも翻ることを痛感している。わからないことや知らせられないことは不安を生む。科学的根拠や科学的な思考が求められている。

子どもたちが、科学の本で科学的な思考が養われるのかどうかは判断できないが、おはなしの本と同様にさまざまな場面で楽しんでいることはたしか。幼児がおも



身近なものを使った科学あそびは子どもたちの好奇心を刺激する

ちやをすずらりと並べるのは、科学の一步だそう。さらに、あれはなあに？なぜ？やってみよう！このような子どもを知りたい質問や要求は、科学的だ。質問に答えるのはなかなかむずかしいが、大人も子どもとの科学の本と一緒に

なつて楽しみなから、これまでぼんやりとしていた部分がより明確にわかってくることがある。『あのくもなあに？』①は、幼い子と散歩したり保育園の行き帰りの際、今日はどんな雲かなと空に目を向けるのが楽しい。『あしたのてんきははれ？くもり？あめ？』②は、お天気を当てたらよ

り興味が深まる。『ぼくのいまいるところ』③は、自分の家から宇宙へと視野を広げ宇宙からまた元に戻る。子どもも大人も宇宙とのつながりを確認できる。図鑑の『帰りの道1年』④は、同じ場所の植物の季節の移り変わりがわかる。動物園や科学館、旅行などを契機に興味を誘う図鑑はじめ、生物や地学、星や宇宙の本は多数ある。

り興味がある。『ぼくのいまいるところ』③は、自分の家から宇宙へと視野を広げ宇宙からまた元に戻る。子どもも大人も宇宙とのつながりを確認できる。図鑑の『帰りの道1年』④は、同じ場所の植物の季節の移り変わりがわかる。動物園や科学館、旅行などを契機に興味を誘う図鑑はじめ、生物や地学、星や宇宙の本は多数ある。

りの本があるだろう。読み聞かせに向く本も増え、季節ごとの科学の本も多い。春のはじめには『つくし』⑤、秋、急に花が咲いて驚かせる『ひがんばな』⑥。また『たんぽぽ』⑦を

読んでいる。『セミたちの夏』⑧の木を這う幼虫の写真に驚く大人も多い。身近な自然と本と行き来しながら、自然のふしぎを体験できる。飼育の本は、勝手に放してはいけない注意は必須事項。実際に飼育すると失敗もあり、もつと詳しいことを知りたくなり工夫も生まれる。さらなる本を手渡したい。『わたしのカプトムシ研究』⑨は、観察から、疑問解決に向け実験の工夫と科学的な考え方を教えてくれる。『もしも原子がみえたなら新版』⑩は、酸素、水素などの原子模型を使って、目に見えない原子の世界のイメージを持たせる。読み聞かせに向かない本は、文庫や図書館で、目立つところに置いたり、

ブックトークで直接手渡したり、科学あそびとして楽しむ。『30倍の世界』⑪は拡大された世界が展開される。子どもも大人も、あれもこれもと覗いて驚いている。『つくってみようかみがくるくる』⑫などで、子どもたちがさまざまな工夫していると「あつ、これって科学！」と気づくこともある。出典や関連本をこぞと伝えたい。調べ学習では、子どもたちは楽しみながら知れたかったことをまとめる。学校司書は担任と連携してブックトークや展示、関連書を提供している。目次や索引の使い方、グレードも含め1冊の本だけでなく複数読んで比べる重要性や著者・出版社・出版年を記録することを（ネットを含め）、子どもたちに身につけさせたい。出典のデータをたどれるようにすることも必要だ。

科学的な思考が求められることは多い。『インフルエンザ風邪を扱った『インフルエンザ感染爆発』⑮も参考になる。多くの科学の本が出版されているのだが、あまり図書館や書店に並ばず、手渡す大人も知らないことがある。苦手意識もあるかもしれない。イラストや写真の美しい本や入門に利用できる本もある。利用は多岐にわたるので、求められる本も多様になる。グレードは幅広く一般書も視野に入りたい。



科学あそびは科学の本への理解も深める

科学的な思考が求められることは多い。『インフルエンザ風邪を扱った『インフルエンザ感染爆発』⑮も参考になる。多くの科学の本が出版されているのだが、あまり図書館や書店に並ばず、手渡す大人も知らないことがある。苦手意識もあるかもしれない。イラストや写真の美しい本や入門に利用できる本もある。利用は多岐にわたるので、求められる本も多様になる。グレードは幅広く一般書も視野に入りたい。

科学的な思考が求められることは多い。『インフルエンザ風邪を扱った『インフルエンザ感染爆発』⑮も参考になる。多くの科学の本が出版されているのだが、あまり図書館や書店に並ばず、手渡す大人も知らないことがある。苦手意識もあるかもしれない。イラストや写真の美しい本や入門に利用できる本もある。利用は多岐にわたるので、求められる本も多様になる。グレードは幅広く一般書も視野に入りたい。

「読書週間」ポスターイラスト募集中

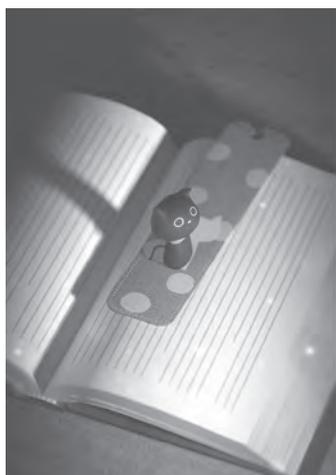
標語をイメージした力作、お待ちしています

公益社団法人 読書推進運動協  
議会で、第74回 読書週間のポ  
スター用イラスト作品を4月より  
募集しており、6月下旬まで受け  
つけています。このイラスト作品  
の募集は読書週間の普及活動の一  
環として位置づけられており、公  
募をはじめて今回で24回目です。

現在は応募要項に標語を記載  
し、標語にあつたイラストを募集  
していますが、2015年までイ  
ラスト募集開始の際にスケジュ  
ールの都合上、標語は決まってお  
らず、「読書」をイメージした作  
品を募集していました。さまざま  
な「読書」をイメージした作品が  
届いていましたが、よい作品で

あつても最終選考の段階で標語の  
イメージにあわない作品だとポス  
ター用のイラストに選ばれるのは  
むずかしく、選考の選択肢が狭  
まってしまうていました。そこ  
で検討を重ね、標語の募集時期を1  
年前倒して、現在のイラスト募集  
のスタイルになりました。

標語がイラスト募集の開始前に  
決まることにより、テーマが絞ら  
れるので、その年の標語によつて  
はイラストで表現するのがむずか  
しく、応募作品が例年より少ない  
ということもありました。です  
が、標語にマッチした作品が多い  
ので、「読書週間」を印象づける  
よりよいポスターができあがつて



2019年の読書週間標語は「おかえり、  
茶の場所で待ってるよ。」「しおり」を「待  
つ」モチーフとした作品が多く寄せられ  
ました  
【上】ポスターとなった富山涼太さんの  
作品  
【下】優秀賞3点。左より岩下純海さん、  
佐藤圭子さん、高木延枝さん

います。掲出する図書館・書店か  
らも、「読書週間ポスターのイメー  
ジがよい意味で変わった」との声  
を多くいただいています。とくに、  
高校・大学の図書館からの反響が  
大きく、ポスター送付の申込数が  
年々増えているのは、うれしいか  
ぎりです。

今回の標語は「ラストページま  
で駆け抜けて」です。この標語か  
らイメージをふくらませたイラス  
ト作品をお待ちしています。



日本子どもの本研究会 科学の部会が  
今回紹介した本

- ①『あのおもななに?』  
富安陽子 ぶん 山村浩二 え／福  
音館書店／2018
- ②『あしたのてんきははれ? くも  
り? あめ?』  
野坂勇作 さく 根元順吉 監修／  
福音館書店／1997
- ③『ほくのいまいるところ』  
かこさとし 著／童心社／1988
- ④『帰り道の1年』  
たかはしきよし 絵・文 岩瀬徹  
監修／偕成社／2006
- ⑤『つくし』  
甲斐信枝 さく／福音館書店／  
1997
- ⑥『ひがんばな』  
甲斐信枝 さく／福音館書店／  
1982
- ⑦『たんぽぽ』  
平山和子 ぶん・え／福音館書店  
／1976
- ⑧『セミたちの夏』  
筒井学 写真と文／小学館／  
2012
- ⑨『わたしのカブトムシ研究』  
小島渉 著／さ・え・ら書房／  
2017
- ⑩『もしも原子がみえたなら 新  
版』  
板倉聖宣 著 さかたしげゆき 絵  
／飯説社／2008
- ⑪『30倍の世界』  
板倉聖宣・豊田泰弘 著／小峰書  
店／2014
- ⑫『つくつてみよう かみがくる  
くる』  
玉田泰太郎・やべみつりのり さく  
／童心社 1989
- ⑬『おしえてーインフルエンザの  
ひみつ』  
岡田晴恵 著 きしらまゆこ 絵  
／ポプラ社／2014
- ⑭『科学的とはどういうことか  
新版』  
板倉聖宣 著／飯説社／2018
- ⑮『インフルエンザ感染爆発』  
デイビッド・ゲッツ 著 ピー  
ター・マッカーティー 画 西村  
秀一 訳／金の星社／2005



子どもたちに人気の  
空気砲あそび

# 文庫、おはなし会、音訳…… 編集部にいただいたおたよりより

5月1日現在、新型コロナウイルス感染拡大による非常事態宣言のなか、図書館の休館、学校の休校などで読書グループのみならず、いろいろな不安な日々を過ごしていることと思います。編集部に届いた声を、お知らせいただいた順にご紹介いたします。なお、掲載にあたり、いただいたことばを一部割愛したり整理しておりますので、文責は編集部にあります。

その後4月30日現在、仙台市図書館は全館閉館中。川端さんも思いつくところをすべて消毒しているけれど、不安を抱えての文庫活動とのことです。

ゆめくらぶ 今井登美子さん(大分県中津市)

仙台でも毎日感染者が増えていますので、すべての行事を中止して自宅籠城状態です。のぞみ文庫は、すべての手づくりをやめて、貸し出し、返却だけしています。仙台市図書館が開館して、そうしているのですが、文庫も月1回開いています。こんなときだから本が必要ですね。私の地域にはまだ感染者が出ていないのが幸いです。しかしこれもどうなるかわかりません。いま、命がいはん大切と、おたがい電話やメールで励ましています。(4月10日)

「読み聞かせも休みにしなくてはならなくて、残念です。すみません」とおっしゃってくださいました。待ち望んでいる子どもたちのためにも、しっかりと選書して読みたい。こんでおこうと思っています。(4月10日)

関音訳の会しおん 波多野いと子さん(岐阜県関市)

関市では公共施設は4月4日〜5月6日まで閉館。学校は5月31日まで休校です。活動だけは最低限の人数でやっています。活動する日だけ、閉館中の図書館の裏口から入れていただき、音訳室を開け放してマスク手洗い。なるべく接しないよう気をつけています。利用者の方から「こんな時期でも活動してもらえてありがたい」と言

います」とのことばがあり、うれしく思いました。(4月20日)

・女川小学校おはなし会おひさま澤田洋美さん(宮城県女川町)

女川小学校での絵本の読み聞かせは、例年6月よりはじまりますが、1学期は中止の連絡が来ました。3月の臨時休校時にNPOカタリバさんからの呼びかけで、希望の子どもたちにZoomによるオンライン読み聞かせを行いました。おたがいやり取りができる絵本や紙芝居が人気でした。東日本大震災の際は、子どもたちと直接会って、表情を見ながらたくさん読み聞かせをすることができましたが、今回はおはなし会自体開けません。歯がゆいですが、会員同士はLINEグループで話し合えるので、この機会に会員同士のオンライン読み聞かせを開催できればと思います。まずは自分たちが絵本の読み聞かせの楽しさを味わい、再開される日を待ち望みたいと思います。(4月30日)

不安を抱え、手探りで読書推進活動を進めているのは、きっとみなさん一緒です。全国の読書グループのみなさん、よろしければ、いまの気持ちや実践を編集部までお寄せください。

## 優良読書グループの歩み (5)

2019年度の「読書週間」に際して道府県読書推進運動協議会より推薦され、本会において表彰した全国の優良読書グループの活動報告を掲載いたします。(順不同)

### 読み語りジャックの会

代表者 高野 省子

新潟県上越市

新潟県読書推進運動協議会(推薦)

### 読み語りジャックの会の誕生とおもな活動

1996年、高田図書館が「読み聞かせ講座」を毎週木曜(4月11日〜6月13日、全10回)主催。受講生15名、図書館員2名で講座終了後の6月、即座にジャックの会が誕生しました、会員となった当時のみなさんがひとつにまとまっていた行動と、すばらしくやる気のある方々が集結した、第一歩でした。

### 理念

子どもの心を育む、おはなしの世界を読み語り、絵本、紙芝居で、物語のなかでの美しいことは、優しい感情、善悪の登場人物にふれ豊かな感性を培ってほしい。本を

### 読むきっかけ作り。

毎週土曜日2時から、高田・直江津両図書館児童書コーナーにおいて、会員2名から3名で同時「おはなし会」(1996年より現在進行中)

・ジャックの会主催「絵本とお話の部屋」Ⅱ両図書館で夏休み、冬休みにエプロンシアター、大型絵本、大型紙芝居を使用、今年で49回を迎えます。



子どもたちの心に届くおはなしを読み語り

・2002年よりFM上越「サークルボックス」11月1回、上越有線放送電話協会「お話玉手箱」毎月第1・3・5土曜日放送に出演。  
 ・出前出張おはなし会 小学校、幼稚園、保育園、特別支援学校など依頼をいただいたからおうかがいします。子どもたちの笑顔、食いつけるような瞳、私達は喜びとまた来てね! のことばに励まされています。

・例会11月1回/特設研修11月各月1回/「一日お話を楽しむ会」11月1回  
 ・会員現在27名1冊ずつ開き読み、朗読、好きなものを読む、不思議と絵本が重ならない、みんなの個性が出て、とても楽しい1日です。  
 ・2008年より黒姫童話館「こころはぐくむ お話の世界」に研修を兼ねて出演させていただき、出演のための講座として年1回、松本市在住の美咲蘭先生より「指導願う」。

・読み語り講座(第6回) 11月全3回、「魅力ある語り手に、初心者のための発声から実演まで」ジャックの会を継続するために会員募集中です。

自主性を重んじています。楽しく笑顔で子どもたちや高齢者に接することができるよう、絵本の中の人物となり、喜怒哀楽を語れるように努力します。

ジャックの基礎を作り、活動する場を提供していただいた、高田・直江津西図書館に感謝。

**たんぼぼ**

代表者 池田 美貴子  
 香川県東かがわ市

〈推薦〉  
 香川県読書推進運動協議会

現在、私たちは、小学生から70代までの17名で活動しています。地元引田小・中学校、子ども園地域の引田図書室での読み聞かせを中心に、児童向けのイベントや、老人会、介護施設などのおはなし会、またときには、絵本作家をお招きして講演会を主催し、絵本や読書に親しむ機会づくりを行っています。

グループの発足は、1997年4月、当時問題となっていた児童の読書離れを懸念した、引田小学校校長先生の発案で、PTA役員から立ちあげられました。グループ名は、読書に親しむ温かい心を綿

毛にのせてふんわり届けるように「たんぼぼ」とつけられました。そして、引田小学校で月に一度、始業前の15分を使った読み聞かせがスタートしました。はじめは、図書館司書の方に読み方や、選書の相談をしながらの活動でした。次第にPTA以外の保護者の会員も増え、活動の場も徐々に広がり、20年以上続いてきました。

しかし現在、引田小学校は英語教育などが増え、朝の活動で読み聞かせに割ける時間が少なくなり、年間の回数は従来の半分程度、4回になっています。たんぼぼが発足した学校の活動が減っているのは寂しいですが、「無理をせず、まず自分が楽しんで活動するのが

いちばん大事」これが、たんぼぼのモットーです。今回、発足当時のことを初代代表にたずねた際、同じことを言われていました。忙しい母親たちで立ちあげた会の、当初からのこうした考え方が、いまでも17名が各々のペースで個性を發揮し、楽しく長く活動を続けられている秘訣かもしれません。

また、赤ちゃんのときから中学卒業まで、なんでもないけれどよく知っているようなおぼちゃんという存在自体の大切さを感じます。外で出会っても、「たんぼぼさん」と子どもから声をかけてくれます。親でも先生でもない相手と、ただ安心できる信頼関係を築かせてくれるのは、絵本の力でしょうか。

引田小・中学校では、今年、中学生による小学生のためのおはなし会がありました。子どもたちに根づいたたんぼぼが花開き、綿毛のリレーが繋がったようで、とても励まされました。今後も綿毛を飛ばし続けたいと思います。



メンバーが手にしているのは子どもたちからのメッセージ!

贈りものにお礼、お返しに。

東山魁夷シリーズ



1,000円「夏に入る」



3,000円「緑渓」



5,000円「秋霖」



10,000円「白馬の森」

◆これまでの図書券・磁気式の図書カードも引き続きご利用いただけます。

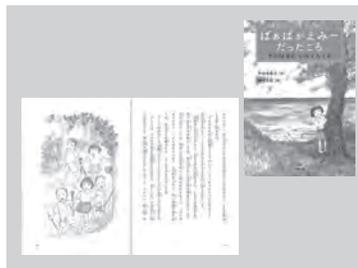
日本図書普及株式会社

■野間読書推進賞受賞者の活動報告

家族のあたたかさ、地域の伝承に  
つつまれた少女時代を紹介

2016年度の野間読書推進賞個人の部受賞者 平田恵美子さん(沖縄県)が、沖縄県大宜味村での自身の子ども時代の思い出と地域の伝統行事や遊びを描いた物語『ばあばがえみーだったころ』(合同出版)を刊行した。「いなぐんぐわ」は沖縄のことばで「女の子」。男の子ばかりの家に生まれた未婚として、やさしい家族に大切に

育てられた平田さん「『えみー』が幼い日に経験した沖縄戦での避難生活の不自由さと心細さ、戦後、地域の伝承に基づいた行事や友だちとの遊び、豊かな自然とのふれあいを通じて成長していく姿が伝わってくる。現在の平田さんの子どもの本研究にもつながっている、地元の身近な神様や妖怪の存在を意識した行事も紹介されている。



『ばあばがえみーだったころ』表紙・本文

イラストは沖縄県在住の磯崎主佳さんで、平田さんとともに、大宜味村を訪れて取材。「私の原風景を再現してくれました」と平田さんは語っている。

公益社団法人 読書推進運動協議会  
事務局よりお願い

2020年5月7日現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、政府および東京都の要請による自宅勤務や業務時間の短縮などの措置に心え、公益社団法人 読書推進運動協議会事務局では、4月3日より、事務局業務を縮小し、自宅勤務と局員の交代出勤を取り入れております。4月8日の緊急事態宣言発表をうけ、宣言解除予定の5月7日をもって通常業務に

戻る準備を進めておりましたが、宣言の解除予定が5月31日へ延期されたため、業務縮小期間を5月31日まで延長いたします。

4月以降と同様に、滞りなく業務を進めるよう、事務局では鋭意努めますが、発行物の刊行日、各種お問い合わせへの対応などが遅れる可能性がありますこと、ご理解くださいますよう、あらためてお願い申し上げます。



公益社団法人  
読書推進運動協議会 連絡先

TEL 03-5244-5270  
FAX 03-5244-5271  
E-mail info@dokusyo.or.jp  
(ドメインは dokusyo.or.jp  
に注意ください)

事務局報告(4月)

- ☆2日||新型コロナウイルス感染症対策のため、当面、事務局を基本在宅勤務・時短出勤併用とする
- ☆3日||新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度第1回常務理事会(21日開催予定)の中止を決定
- ☆6日||朝日税理士法人に「2019年度収支決算書」の作成を依頼
- ☆7日||機関紙「読書推進運動」629号入稿
- ☆8日||機関紙「読書推進運動」629号責了
- ☆15日||機関紙「読書推進運動」629号出来
- ☆15日||2019年「第73回 読書週間」行事報告を文部科学省へ提出
- ☆17日||「2019年度 収支決算書」の監査を、西村俊男監事・佐藤潤一監事・竹村和子監事に順次依頼
- ☆23日||5月12日||「第62回 こどもの読書週間」



●編集部 & 事務局の  
ひとこと

●高校で化学を教えている夫は、3月からの休校で在宅勤務中。4月までは課題のプリントを配信していましたが、5月からはよいよ「オンライン授業」となりました。はじめてのことなので授業づくりに四苦八苦、連休返上でした。

●夫のほうには、休校中の生徒たちから、ほぼ毎日のように質問がメールやLINEで送られてきます。ときどき「なにを聞きたいのかよくわからない」質問もあり、「面と向かっての質問なら、いろいろ話しているうち、どこでつまづいているのか見えてくるけれど、短い文章だとポイントが見にくい」そうです。「わからない」原因をきちんと分析し、文章にする力が問われているのです。返信する方にも読み取る力ときちんと説明できる文章力がこれまで以上に求められ、夫も苦労しています。

●その夫が、課題プリントとオンライン授業の教育でいけば心配しているのは、「ノートを取る習慣がうすれること。授業のポイントを整理し、自分のことばとスタイルでノートに記すことをおろそかにしている」と、知識を得てもそれを連関させて考える力が弱くなると思う。

●一方からのオンライン授業だからこそ、生徒たちの読解力・文章力がかえって必要になってきます。5月10日現在、地域によっては学校や図書館の再開への動きが出てきました。書店の売り上げも伸びているとのニュースもあります。学びの基礎で「読書」の力を、すべての子どもと大人が必要としています。(伸)